令和４年度（2022年度）予算概要

単位：千円、％

会　　計		令和４年度（2022年度）A	令和３年度（2021年度）B	増　減 増減額 C（A－B）	増減率 C／B
一般会計		59,450,000	59,600,000	▲ 150,000	▲ 0.3
特別会計	財産区事業費	1,807,153	1,851,645	▲ 44,492	▲ 2.4
	国民健康保険事業費	14,113,006	13,666,774	446,232	3.3
	介護保険事業費	11,064,162	10,487,221	576,941	5.5
	後期高齢者医療事業費	2,648,532	2,500,333	148,199	5.9
	公共用地先行取得事業費	1,037,090	1,073,106	▲ 36,016	▲ 3.4
	介護サービス事業費	13,047	12,267	780	6.4
	特別会計の計	30,682,990	29,591,346	1,091,644	3.7
企業会計	病院事業会計	10,563,867	10,551,874	11,993	0.1
	水道事業会計	4,013,282	3,961,281	52,001	1.3
	公共下水道事業会計	3,428,931	3,189,520	239,411	7.5
	競艇事業会計	60,955,063	71,110,019	▲ 10,154,956	▲ 14.3
	企業会計の計	78,961,143	88,812,694	▲ 9,851,551	▲ 11.1
合　計		169,094,133	178,004,040	▲ 8,909,907	▲ 5.0

****　当初予算の全体像　****

《一般会計の予算額》　594億50百万円　＜▲ 1億50百万円、▲ 0.3%＞

・ 扶助費などの社会保障関係費や病院への繰出などが増加したものの、彩都小中一貫校増築校舎の取得が完了したことなどにより、予算額が約2億円減少しました。

《全会計の予算額》　1,690億94百万円　＜▲ 89億10百万円、▲ 5.0%＞

・ 競艇事業会計において、ＳＧ競走（グランプリ）の非開催年にあたるため、予算規模が縮小したことにより、全会計の予算総額が約89億円減少しました。

◆ 一般会計の主な歳入の状況

・市税　239億30百万円　＜＋ 10億71百万円、＋ 4.7%＞

固定資産税にかかる税負担軽減措置の終了などにより、約11億円増加しました。

・市債　33億46百万円　＜▲ 1億52百万円、▲ 4.4%＞

新駅への交通アクセスを確保するための都市計画道路や新駅周辺の整備、新病院予定地の整備などの財源として市債を発行しました。

・競艇事業会計繰入金　20億円　＜＋ 5億円、＋ 33.3%＞

好調な業績を背景に、前年度から5億円増加した20億円の繰入金を見込んでいます。
北大阪急行線の延伸整備にかかる市債発行の抑制や市債の償還などに活用した残り約5億円を「北大阪急行南北線延伸整備基金」へ積み立てました。

◆ 一般会計の主な歳出の状況

・扶助費　155億85百万円　＜＋ 4億45百万円、＋ 2.9%＞

待機児童対策として保育所整備を進めてきたことによる保育給付費の増加やその他扶助費の増加などにより、約4億円増加しました。

・普通建設事業費（施設整備など）　115億33百万円　＜▲ 11億20百万円、▲ 8.9%＞

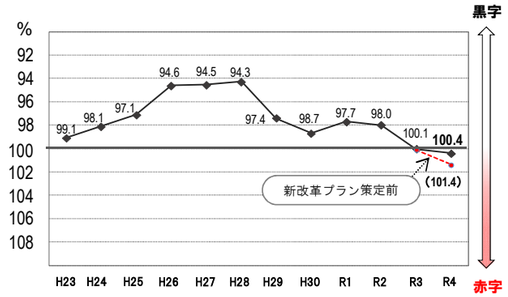
令和５年度の鉄道開業に向けた北大阪急行線延伸整備、箕面萱野駅前の整備、新病院予定地の整備、公園のリニューアル工事などを実施します。

・人件費　106億93百万円　＜＋ 2億05百万円、＋ 2.0%＞

退職手当の増加や会計年度任用職員報酬の改定などにより、約2億円増加しました。

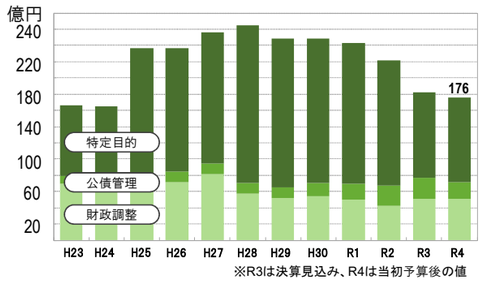
****　収支バランスの状況　****

◆ 経常収支比率（当初予算ベース）　100.4%　＜＋ 0.3ポイント＞



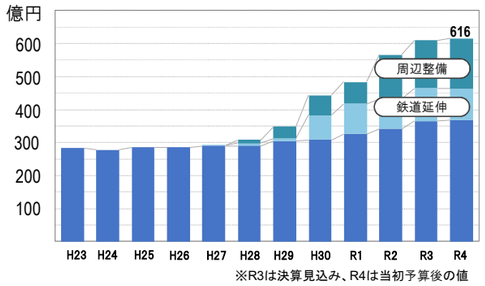
市税収入の増や新改革プランに基づく着実な改革の実行などにより、プラン策定時における推計値から1.0ポイント改善したものの、扶助費など社会保障関係費の増加などにより、昨年度から0.3ポイント上昇しました。

◆ 基金残高（普通会計ベース）　176億02百万円　＜▲ 6億05百万円、▲ 3.3%＞



北大阪急行線延伸の整備費や市債償還に活用するため、「北大阪急行南北線延伸整備基金」へ積み立てた一方、公園のリニューアルや新病院予定地の整備などに基金を活用した結果、基金残高は約6億円減少しました。

◆ 市債残高（普通会計ベース）　615億63百万円　＜＋ 5億39百万円、＋ 0.9%＞



箕面船場阪大前駅周辺や新病院予定地の整備などにかかる市債を発行した結果、残高は約5億円増加しました。
今後の償還額の増加は、財政運営に大きな影響を及ぼすものであることから、新年度は、競艇事業会計繰入金を活用し、北大阪急行線延伸整備にかかる市債の発行を”ゼロ”とするなど、市債の発行抑制に努めました。

愛すべきまち「箕面」の次世代への継承や持続可能な魅力あるまち「箕面」の実現をめざし、これからも、新改革プランに基づき、限られた財源で住民サービスを向上させるとともに、着実な改革を進めていきます。